

JR室蘭線活性化連絡協議会 令和7年度 事業報告

1 線区の維持・存続に向けた協議・調整等

(1) 協議会、担当者会議等の開催

	区分	開催日	場所	主な内容
協議会	第1回	R7.4.1	書面開催	令和6年度事業・決算報告 令和7年度事業計画・予算 専門委員の設置
担当者 会議	第1回	R7.5.26	栗山町	実証事業（沿線住民モニター事業・通勤定期モニター事業）について 車窓フォトコンテストについて オリジナルキャラクター活用事業について 観光利用促進事業について
	第2回	R7.7.15	WEB 開催	オリジナルキャラクター活用事業について
	第3回	R7.11.18	岩見沢市	令和8年度事業計画（素案）及び予算（素案）について
	第4回	R8.2.3	苫小牧市	令和7年度調査実証事業の結果について 令和8年度事業計画（案）および予算（案）について 蘭らん等身大パネルの活用について

(2) JR 室蘭線アクションプランへの協力

① 室蘭線アクションプラン実行委員会、幹事会等の開催

	区分	開催日	場所	内容
実行委 員会	第1回	R7.4.2	書面開催	令和7年度室蘭線調査・実証事業具体的取組みについて
	第2回	R7.9.22	書面開催	事業の抜本的な改善方策の実現に向けた実行計画検証報告書（案）について
幹事会	第1回	R7.8.20	苫小牧市	2024年度第4四半期までの具体的取組みの進捗状況確認 2025年度第1四半期までの具体的取組みの進捗状況確認 事業の抜本的な改善方策の実現に向けた実行計画検証報告書（案）について
	第2回	R7.11.10	苫小牧市	2024年度検証報告会の結果等について 2025年度第1四半期線区別収支とご利用状況について 2025年度第2四半期までの具体的取組みの進捗状況確認 2026年度の具体的取組み及び実証事業の検討について
	第3回	R8.2.3	苫小牧市	2025年度第2四半期線区別収支とご利用状況について 2025年度第3四半期までの具体的取組みの進捗状況確認 室蘭線のあるべき交通体系について（案） 2026年度の実証事業及び具体的取組みについて

(3) 北海道鉄道活性化協議会事業への参画・協力

- ・「鉄道利用促進に向けた地域との連携事業」を活用し、オリジナル缶バッジを制作（事業費の1/2を同協議会が負担）
- ・ひとめぐり号お出迎え事業等で活用



2 鉄道をはじめとした公共交通への関心を高める取組み

(1) 各市町の広報誌やSNS、イベントなどを通じた線区への関心の喚起

① Facebook アカウント「室蘭線で出かけよう!」による情報発信 (R1.6.25 開設)

・ 累計投稿数:648 フォロワー数:862 人

② Instagram アカウント「muroransen」による情報発信 (R2.10.14 開設)

・ 累計投稿数:460 フォロワー数:649

③ 「鉄道フェスティバル in 北海道」への出展

・ 日高線と合同出展し、沿線特産品や鉄道グッズの販売、パネル展示等によるPRを実施

日時：令和7年9月20日(土)

場所：札幌市北3条広場(アカプラ)



④ ひとめぐり号お出迎え

・ 室蘭線を運行するひとめぐり号に対して、日高線の沿線自治体と連携しておもてなしを実施

日時：令和7年10月25日(土) 15:10~16:10

乗車区間：追分駅 - 岩見沢駅

内容：車内での缶バッジ等のノベルティ配布、駅ホームでのお見送りや特産品販売等



⑤室蘭線沿線観光利用促進事業

- ・沿線市町で開催されるイベントに、室蘭線を利用して来場した方や室蘭線のバッジを持参した方に対し、会場内で使えるクーポン券等を配布。

(a).くりやま夏まつり

- 日時 令和7年7月19日(土)、20(日)
- 配付場所 栗山駅
- 配付人数 81名



(b)由仁町 夏まつり

- 日時 令和7年8月3日(日)
- 配付場所 由仁駅
- 配付人数 3名



(c)由仁町 ビール祭り

- 日時 令和7年8月15日(金)
- 配付場所 由仁駅
- 配付人数 7名



(d)くりさわ農業祭

- 日時 令和7年8月23日(土)、24(日)
- 配付場所 栗沢駅
- 配付人数 34名



(e)日本遺産「炭鉄港」記念イベント

- 日時 令和7年9月7日(日)
- 配付場所 追分駅
- 配付人数 9名

⑥キャラクター活用事業

沿線のPRや利用促進を目的としたイベント等への活用にあつてはオリジナルキャラクターを制作。また、各市町の地域性を持たせた衣装を着たキャラクターの等身大パネルを作成し、今後各駅に設置予定。



(2) 実証事業を通じた沿線住民の利用促進

① 沿線住民モニター事業(1日乗車体験)

- 概要 要:1日乗車券を無料配付し、お試し利用してもらうことで、沿線住民に対する室蘭線の利用意識の醸成を促す。
- 対象区間:沼ノ端～岩見沢
- 実施期間:令和7年7月～12月
- 募集人数:300人
- 申込人数:300人
- アンケート回収数:224人(回収率 74.7%)



② 通勤定期券モニター事業

- 概要 要:JR室蘭線定期券を無料配布することでJR通勤を体験してもらうとともに、今後の継続意向調査を実施。
- 対象区間:岩見沢～沼ノ端間を着・発駅とするもの
- 乗車券種別:1か月定期券
- 実施期間:令和7年7月～12月
- 募集人数:30人
- 申込人数:5人
- アンケート回収数:5人(回収率 100%)



③ 室蘭線車窓フォトコンテスト2025

実証事業の期間中に合わせて、1日乗車体験モニター参加者がInstagramにて車窓からの写真を投稿。

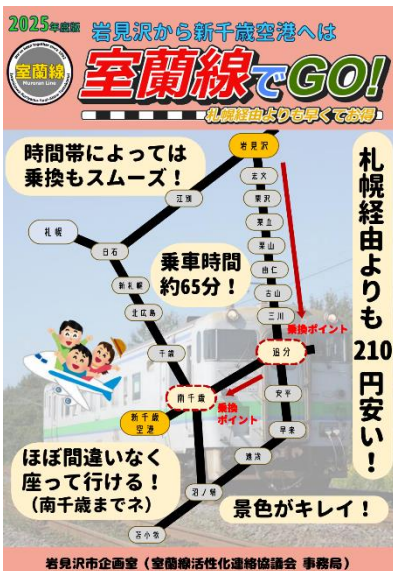


3 利便性及びサービスの向上に向けた取組み

- (1) 他の公共交通機関等との接続・連携の円滑化の検討
- (2) JR北海道のサービス向上取組みへの協力

4 新たな利用者の獲得

- (1) 観光等、沿線以外からの利用者獲得に向けたPR
上記、2記載内容と同じ
- (2) 新千歳空港への好アクセスに関する PR・情報発信



5 経費節減への協力

- (1) 経費の削減・圧縮に向けたJR北海道との協議・検討
 - ① 利用の少ない駅の施設管理の検討・協議
利用が最も少ない栗丘駅の利用実態調査を行い、R9 からの廃止に向け岩見沢市と協議。
 - ② 利用の少ない列車・運行ダイヤの見直し
高等学校の長期休暇期間における通学列車の減車検討・実施

6 あるべき交通体系に関する議論

- (1) あるべき交通体系(案)に関する協議